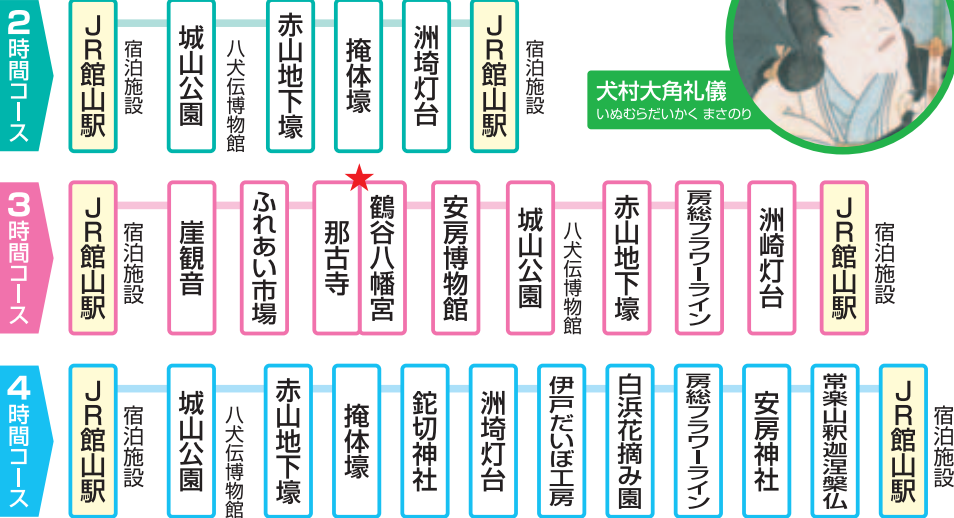


礼 南房総・小さな旅コース（歴史編）

ふだん見ることが少ないオススの歴史体験スポットへ。里見氏だけでなく、古の館山の雰囲気の伝わる寺社仏閣巡りはいかがですか。貴重な戦争遺跡は、普段感じることのできない平和へのメッセージを感じます。



犬村大角礼儀
いぬむらだいかく まさひろ



赤山地下壕（あかやまちかごう）
北条海岸から15分。東京湾の入口にある館山は国の中心である東京を守るため、重要な場所でした。「赤山地下壕跡」は、数多くの戦争遺跡が残っている中の、館山市を代表する1つです。

●赤山地下壕跡／午前10時～午後4時（4月～11月）／午前10時～午後3時（12月～3月）／毎月第3火曜日・年末年始／■0470・22・3698（館山市生涯学習課）

常楽山釈迦涅槃仏

（じょうらくさんしゃがねはんぶつ）
緑に囲まれた小高い山の中腹にある、常楽山萬徳寺。境内に横たわっている寺の本尊・涅槃仏は体長16メートル、重さ16トンの巨大な像。特に足腰が弱い人に御利益があるとか。眺望抜群の展望テラスもあります。



●常楽山涅槃仏／午前9時～午後5時（冬期～午後4時）／大500円 中・小100円 高校及び65歳以上300円 80歳以上無料／■0470・28・2013

鶴谷八幡宮（つるがやはちまんぐう）

平安時代の初期、安房国の総社として、国府の地（現在の三芳村）に創建されたもので、鎌倉時代に総社が八幡宮となり現在の場所に移されたことと伝えられています。平安時代の中頃から始まったとされる房州最大のお祭り『やわたまち』は、10基を超える御輿と山車が勇壮な雰囲気を演出し、熱気があふれます。毎年9月第三週の土曜・日曜の2日間です。

那古寺（なごじ）

那古山の中腹にある717年、行基によって創建された那古寺。遊歩道を登れば裏山の頂上へ。館山湾が一望できます。桜の名所としても有名。



安房博物館（あわはくぶつかん）

「房総の海と生活」をテーマに房総半島沿岸の漁民の生活と文化を紹介しています。様々な漁具や漁船の展示や、原始・古代の丸木舟など、安房地方独特の「海の生活」とその歴史を見ることができます。

●午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）／休館日 毎週月曜日（ただし月曜日が休日・振替休日に当たる時は、その翌日が休館日となります）
料金 一般200円／高校生・大学生100円／中学生以下・65歳以上 無料
■0470・22・8608



崖観音（がけかんのん）

船形山の中腹にある大福寺。717年に行基が創建した寺で、観音堂が崖に埋め込まれたように建てられていることから「崖の観音」の名で親しまれています。